



[施設全景](#)



[食堂](#)

今日(2019年5月15日)は磐田市竜洋地区の「ふれあいの居場所：ひまわりの郷」に伺いました。ここを経営するのは林英樹さん(77歳)で、奥さんの早苗さん(72歳)にお忙しい中、お話を伺いました。

2年前から、ここに「ひまわりの郷」を開館し、多くの高齢者の方々が利用しています。元は整形外科の病院の建物を活用して、食堂、カラオケルーム、将棋ルーム、多目的ルーム等を備え、比較的ゆったりとした居場所です。竜洋地区では最も大きな居場所で、かつ利用者も多いと聞いています。

営業時間は10時～16時で、日曜日と金曜日は定休日です。今日は水曜日で、丁度お昼過ぎの時間帯、約20名くらいの方が食堂で食事をし、歓談をしています。

食堂のメニューは

- ・コーヒー 100円
- ・ケーキ 250円(コーヒーとセット)
- ・うどん 200円
- ・赤飯 100円

です。また 近隣の方々が作った野菜や自宅で作った野菜も販売しています。台所では 林さんとボランティアスタッフ2名の方が忙しく働いています。



[食堂 男性が一人来園](#)



[うどんと赤飯](#)

「何故、居場所を開かれたのですか」と尋ねると、「主人が合併前の竜洋町で町会議員をしていて、いろいろな方にお世話になったこと、また私もこの前まで民生委員をしていて、いろいろな方との出会いがあり、それが大きな動機ですね。特に 一人暮らしの方々は

何とか家の外に連れ出すことができないだろうか、と思いました。

また、例えば

- ・民生委員の世話にはなりたくない方、
- ・病院の世話にはなりたくない方

とかがおられて、そのような方々のために何かできないか？と考えて開いたのです。いつ来てもよい、いつ帰ってもよい、そんな街の居場所にしたいと思い、開館しました。」



[楽し気なお二人](#)



[セニアカー](#)

高齢者の居場所は最近 いろいろと話題になります。高齢者に関する痛ましい事故・事件が話題になるにつれ、地域におけるその必要性はますます増加しつつあるようです。居場所とは 地域に住む高齢者の方々が自由に出入りでき、主体的にかかわるとにより、自分を活かしながら過ごし助け合える場所ですが、

そこでは

- ①自分の存在を認識できる
- ②経験や能力をいかすことができる
- ③時間を自由に過ごすことができる
- ④誰もが利用できる
- ⑤いつでも立ち寄れて、いつでも帰ることができる

という特色があり、その特色を利用者は誰もが享受できます。



[真剣なお二人](#)



[カラオケルーム](#)

食堂で懇談中の女性三人連れ(70代から80代)にお話を聞きました。

- ・ほぼ毎日 来ています
- ・今日は私と彼女はうどんを、彼女はコーヒーをいただいています
- ・車で相乗りで来て、気楽で 和やかでいいですよ
- ・思いつくままにおしゃべりして、帰ります
- ・人から聞いて通うようになりました

仲よし女性二人連れの方(92歳・76歳)にお話を聞きました。

- ・今日は私(92歳)はうどん、彼女はコーヒーです
- ・べらべら思いつくままに、しゃべっています
- ・ゆっくりくつろげて、楽しいですよ
- ・私(92歳)は セニアカーで一人できます

- 彼女は車できます
・人に聞いてくるようになりました

近所には透析病院があり、その患者の方々も透析が終わって、コーヒーを飲みに来られるとのこと。



[多目的ルーム](#)



[お野菜の販売](#)

館内を見て回りました。
将棋ルームでは二人が対局し一人が観戦。
なごやかな雰囲気です。

カラオケルームでは 8人の男女が楽しくカ唱中でした。

多目的ルームは 誰もいなくて、ガランとしています。
時々、卓球やフラダンスで利用する方がいるとのこと。

現在、一日平均50名くらいの利用者があり、ほぼロコミで来てくれるそうです。



[玄関前にて](#)

今の課題は 収支が厳しいことです。
うどん 赤飯 コーヒー ケーキ 野菜等の販売収入で
総コストを賄いたのですが、収入に比較して家賃等が高く、
収支はとれていないようです。
また、今はガランとしている多目的ルームを常時 もっと
使えないか、検討中です。
できれば、100歳体操をDVD上映し、希望者で行いたいのですが、
モニターとDVD再生機が10万円と高く、今は実施できていません。
どこか資金提供してくれるところはないかしら、とのこと。
もう一つはメニューを増やし、収入増を図るのも一つの方法

ですが、一部反対もあり、今は保留中とのことでした。

収支は問わない、が林さんのモットーなのですが、
なかなか厳しいようです。
高齢者が元気であることは 社会保障の立場からも歓迎すべき
ことです。
もう少し地域で支援ができれば、いいな、と思いつつ、
「ふれあいの居場所：ひまわりの郷」を後にしました。
林さん、お元気で頑張ってください。

「ふれあいの居場所：ひまわりの郷」に関するお問い合わせは
林早苗(72歳)さんまで(0538-66-0188)

(磐田・周智地区生きがい特派員 戸田孝)